

## 平成 27 年度城山商工会 経営発達支援計画事業評価書

地域商工業者の“持続的な発展”を目指し、伴走型で商工業者を支援していくために、当会では小規模企業基本法に基づき、「経営発達支援計画」を策定し、平成 27 年 12 月 25 日に経済産業省の認定を受けました。

この計画の認定を受けたことにより、今後は城山商工会が認定商工会として、従来の小規模事業者の経営相談に加え、行政や他の公的支援機関・地域金融機関・各分野の専門家と連携して、小規模事業者の意欲ある取り組みを支援する「伴走型小規模事業者支援」に取り組んでまいります。なお、平成 27 年度の事業実施状況と成果の検証を以下のとおり報告いたします。

- 日時 平成 28 年 6 月 21 日（火）14 時～16 時
- 会場 城山商工会館
- 出席 委員 4 名（有識者 2 名、行政 2 名）、事務局 3 名
- 内容 城山商工会平成 27 年度「経営発達支援計画」事業評価について

### I. 経営発達支援計画の内容

#### ◆ 経営状況の分析に関すること

事業実績	小規模事業者の経営状況を分析するため、営業活動や生産、経営ビジョンなどを問うヒアリングカルテと B/S、P/L、C/Fなどを簡易的に分析する簡易経営診断パックの構築を実施した。	
評価	3か月間という短い事業期間にもかかわらず目標を上回る成果を上げている。よって A 評価とする。	<b>A</b> B C D

#### ◆ 事業計画策定支援に関すること

事業実績	経営計画策定セミナーを実施し、経営目標や自社の強み弱み、商圏やターゲットなど経営計画策定に必要なスキル習得の支援を実施した。 また、創業者向けの経営計画策定支援を実施した。	
評価	3か月間という短い事業期間にも関わらず年間 12 か月分の目標を大きく上回っており、A 評価とする。	<b>A</b> B C D

#### ◆ 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること

実施	地域金融機関及び支援機関と連携し、小規模事業者の受発注のマッチングを実施した。 また、当地域内で行われるイベント祭りにて、パンフレットの設置や販売等による店舗・商品の紹介を実施した。	
評価	近隣金融機関と連携するなどし、新たな需要開拓に積極的に取り組んでいる姿勢が評価できる。	A <b>B</b> C D

## II. 地域経済の活性化に資する取組

### ◆ 体験型観光

実 施	相模川エリアの活性化に向けて、今後の落花生づくり事業計画策定の支援を実施した。	
評 価	体験型観光について調査を進め、次年度目標達成に対する着実な準備が行われていることからB評価とする。	A B C D

## III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

### ◆ 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

実 施	相模原市や日本政策金融公庫、近隣商工会等連絡会を開催し、支援事例の発表などの情報交換を実施した。	
評 価	近隣支援機関とよく連携し、情報共有や支援ノウハウの共有に積極的に取り組んでいることからA評価とする。	A B C D

### ◆ 経営指導員等の資質向上等に資する取組

実 施	高齢化社会や若者の就職困難者、労働衛生面等への対応を小規模事業者が行う際の公的助成金の研修会を実施した。 また、経営発達支援計画の進捗状況を共有するため、月次進捗共有会を実施した。	
評 価	職員の支援能力向上に積極的に取り組んでおり、常に支援を受けるお客様が満足される支援体制を整えることに積極的である。よってA評価とする。	A B C D

総 評	事業実施期間が3か月と短い期間であり、実施できなかった取り組みも見受けられたが、実施した取り組みについては目標を上回る実績をそれぞれが上げており、本計画に積極的に取り組む姿勢が評価できる。実施済み項目については全体としてA評価を行ってよいと考えたが、未実施項目の評価と次年度への期待を鑑み総合評価はB評価とした。	
B		

### 【評価区分】

評価	達成割合
A	80%以上～100%
B	60%以上～ 80%未満
C	30%以上～ 60%未満
D	0%以上～ 30%未満